

カモを観察しよう (バード・ウォッチング)

[対象：小学校4年生以上]

★ねらい カモの特徴をもとにして、見つけたカモを同定したり、見られたカモの種類と数を記録したりして、野鳥観察のし方を身に付けさせると共に、野鳥の生活に興味を持たせる。

1. カモについて

カモは、ガンカモ目に属し45属、150種の種類があり、全世界で見ることができる。また、これらは全てガンカモ科に属するとともに、日本では約40種類を見ることができる。

これらの多くはわたり鳥であり、秋の末に遠くシベリアやアラスカなどからやって来て、春になるとまた来た土地へ帰って行く。しかし、数種のものはわたりをせず留鳥のものもある。

生活する場所によって淡水ガモ、海ガモ、アイサの3通りに区別することができる。なお、ここで扱うカモは、淡水ガモである。

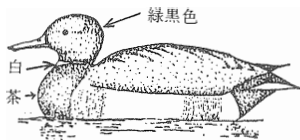
カモは、水中のモ類を、水をすってこしわけて食べているが、餌付けは、お茶や米、麦、パンくずなど、主として穀類を用いて行う。

2. カモの特徴

○それぞれのカモの特徴をもとにして実際場面での同定の視点にする。

(1) マガモ

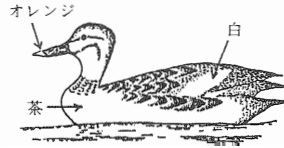
オスは首から上が緑黒色に光った大形のマガモで、嘴は黄褐色で目立たない。俗にアオクビとも呼ばれており、アヒルの元種である。(図1)



マガモ♂ (図1)

(2) カルガモ

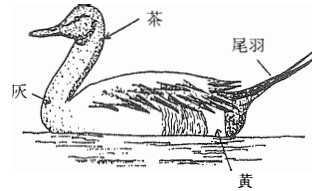
このカルガモは他のカモと違って留鳥であり、オスとメスであまり変わらない。しかし、オスの方が一回り大きい。他のカモとの違いは嘴の先がオレンジ色をしており、岸に上がっていることも多く、他のものと区別することができる。(図2)



カルガモ♂ (図2)

(3) オナガガモ

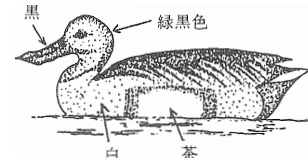
このカモは胸が白く、遠くからも水面に白く見えるのですぐにわかる。また、オスは中央の尾羽が長く美しい。また、オシドリは山の湖の岸の上や木の上にいるのを見ることができるが、人の生活圏に居るものも多い。(図3)



オナガガモ♂ (図3)

(4) ハシビロガモ

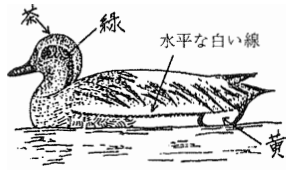
このカモはこの名の示す通り嘴が著しく大きく扁平で、この嘴の端に穴のようなものが開いているのがわかる。また、オスは胸と尻の部分に白いところがあり、横から見るとフランスの三色旗のように見える。(図4)



ハシビロガモ♂ (図4)

(5) コガモ

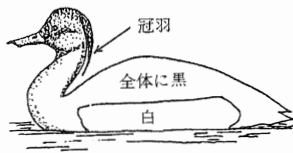
形が小さくマガモの半分にも満たない、体の中央部に白い線を見ることができる。(図5)



コガモ♂ (図5)

(6) キンクロハジロ

このカモは他のものと違い海ガモ類に属し大形である。オスは胴体部分が白く、後頭部には冠羽があるのですぐわかる。(図3)



キンクロハジロ (図6)

[群馬県内で見られるガンカモ類]

- ・シジュウカラガン ・コハクチョウ
- ・オシドリ ・トモエガモ ・コシガモ
- ・ヒドリガモ ・アメリカドリ
- ・ホシハジロ ・オオハクチョウ など

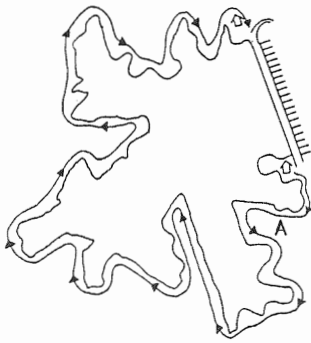
2. 藤岡市竹沼でのカモの観察

[実施時期：11月～2月、1月は不適]

[準備物]

- ・望遠鏡 (双眼鏡、野鳥観察用) ・鳥類図鑑
- ・色鉛筆 ・筆記用具 ・スケッチブック
- ・観察ノート ・カウンター

<観察コース 所要時間：約3時間>



(1) 見つけたカモをスケッチする。

① 観察地点Aでカモを見つけ、スケッチする。

○ 次の点に絞って観察させる。

- ・くちばしの色 ・頭の色 ・羽根の色
- ・足の色 (ほとんどのカモが水面上にいたので、わからない場合が多い。)

○ 下の図を用意しておいて、観察したことを色エンピツで記録させる。

[観察用紙]

<名前>

(特)

(徴)

.....

- ・くちばし
- ・頭
- ・羽根

○ 他のカモと異なる点を見つけ、記録するようにする。

○ メスは見分けにくいので、オスだけを観察させる。(つがいで行動し、オスが前に位置してメスがオスの後に位置していることを知らせるとよい。)

② スケッチ図をもとに、名前を同定する。

○ 子どもたちの決定した根拠を大事にし、間違っただけの場合は修正してあげる。

○ カモ以外の鳥の名前は指導者が教える。

(2) カモの種類と数を調べる。

○ カモの見分けがつかなくなった時点で言う。

① 右のコース図を用意しておいて地図内に記入させる。

<記入例>

- ①.....オナガカモ ②.....カルガモ
- ③.....キンクロハジロ ④.....コガモ
- ⑤.....ハシビロガモ ⑥.....マガモ

② 表に見つけたカモの名前と数を記入する。

○ 次のような表を用意してまとめさせる。

	名	前	数
1			
2			
3			

カモ類	年 月	1984											1983						
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4						
オシドリ																			
マガモ																			
カルガモ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コシガモ																			
シロガモ																			
トドリガモ																			
オナガガモ																			
ハシビロガモ																			
キンクロハジロ																			

4. 資料

(1) 藤岡市内カモの調査結果

① 藤岡市内のガンカモ類

秋の深まる頃、河川や池沼に恵まれた藤岡市には多数のカモ類が渡来する。その数は14種に及び、表-1のようになる。

表-1 藤岡市におけるガンカモ目の分布 (●は少ない種)

	河川			池沼						
	鏡川	鳥川	神流川	竹沼	大カ ン	牛 秣	三名湖	矢場	保美	ひょう たん池
シジュウカラガン										
コハクチョウ	●	●								
オシドリ										
マガモ		○		○		○				
カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コシガモ		○		○						
シロガモ		○		○						
トドリガモ		○		○						
アメリカヒドリ		●								
オナガガモ	○	○	○	○						
ハシビロガモ		○		○						
キンクロハジロ		●		○						
種数合計	4	11	3	6	3	9	4	7	1	1

渡来期は10月より4月迄であり、初夏にはカルガモを残して渡去してしまう。

② カモの餌

これらのカモ類の多くは植物質を餌としており、昼間は水面で休息をし、頭を背中に乗せている。初めて見る者にとっては頭が無いと思うこともある。夕方になると殆どの固体が群れを成して飛び立つ、また遅れたものも数分後にはほとんどつがいいで飛び立ち、河原や耕地で採餌をする。

③ 牛秣沼貯水池における月別カモ類の変化

④ 竹沼付近で見られる他の野鳥

この竹沼貯水池周辺は、藤岡と吉井の境界に位置し背後に御荷鉾山、赤久縄山など、長野に至る深い山があるためオオタカ、サシバを初めとする猛禽類が見られる。

竹沼貯水池では小魚を餌とするヤマセミ、カワセミなどの珍しい鳥たちが見られる。

(2) 県内でカモを観察できる場所

県内を流れる大きな川で観察できるほか、次にあげる湖沼等でも観察できることがある。

〔東中毛〕城沼、多々良沼、近藤沼、五料沼、波志江沼、乾谷沼、手賀沼、早川貯水池、赤城大沼、赤城小沼

〔西毛〕竹沼貯水池、三名湖、鳴沢湖、大塩湖、牛秣沼貯水池、神流湖、丹生貯水池、霧積湖、妙義湖、榛名湖

〔利根川〕菌原湖、丸沼、菅沼、玉原湖、藤原湖、洞元湖、奥利根湖、奈良湖、尾瀬沼

〔吾妻〕四万湖